

ひめまつ

78

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

表紙のことば

この度、私の作品が『ひめまつ』の表紙を飾ることになり大変嬉しく思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症が五類に移行となり、行動制限が緩和されたことで、様々な行事で沢山の思い出を作ることができました。

これからはコロナ禍で制限されていた頃より、一人一人が多くの挑戦をすることができ、一人一人が進むべき航路を、自分の力を信じて進み続ける。そのような思いを込めて、夢や勇気を象徴するものとして帆船を描きました。帆船が進む未知なる海原は、卒業後の私たちの希望に溢れる未来です。

新たな航路を切り拓き、成長し続けていく姿をイメージして制作しました。これからも様々な冒険と成長が待っていることを楽しみにしています。

普通科特進コース

二年六組 栗原侑良

生徒会誌

ひ め ま つ

[78]



画：3年22組 五味渕 夢愛

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

校 歌

作詞 菅 谷 徳次郎
作曲 野 原 幸 夫

ふに たら のに たしー かげ ねる はひめ かま につ あお まー ぎつ
 まか なわ びら のみみ ちさ すお じは まち さよ きよ くろ あず れよ とと
 かか たた みにに ちー かわ いい てい いそ しし みみ はは げげ むむ
 おま しな えび のの にー わわ ここ そそ げげ にに とめ うで とた けけ れれ
 ああ わわ れれ とめ うで とた ここ ー のの まま なな びび やや

校 歌

一 二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ

学びの道筋 まさきくあれと

かたみに誓いて いそしみ励む

教えの庭こそ げに尊けれ

あわれ尊 この学び舎

二 庭面に茂れる 姫松小松

変わらぬ操は 千代万代と

かたみに祝いて いそしみ励む

学びの庭こそ げに芽出度けれ

あわれ芽出度 この学び舎

一人は
一校を
代表
する

本校の全教室に掲げられてある
生徒の生活目標です。

第二代理事長・校長の須賀友正先生
は、その意味を「生徒の一人一人が
それぞれに本校生徒としての価値を
知って、その価値を自分で見捨てて
はいけないと言う」こと、と『ひめ
まつ』第三号（昭和二十四年二月発
行）の中で述べておられます。

（書は、本校教諭でもあった栃木県
を代表する書家・石川木魚先生です。）

学園の四季

4月 入学式



期待を胸に



高校生活への決意

6月 スポーツフェスティバル



バスケットボール



バドミントン



ボッチャ



卓球



サッカー



サッカー

7月 合唱コンクール



心をひとつに



9月 大運動会



目指せ、優勝!!



科別対抗リレー



入場行進



カンセキスタジアム



集団演技



11月 創立123周年記念 学校祭



演劇部上演(須賀栄子記念講堂大ホール)



普通科展示(教育会館)



模擬店のにぎわい



野外ステージ



模擬店のにぎわい

修学旅行
in 沖縄
R5.12



本格的な冬を前に、2年生は修学旅行に出発。現地では、12月とは思えない温暖な気候の中、さまざまな体験を通し、友情を深めてきました。



青い海をバックに!!



仲間とともにハイポーズ!



国際通りでの買い物



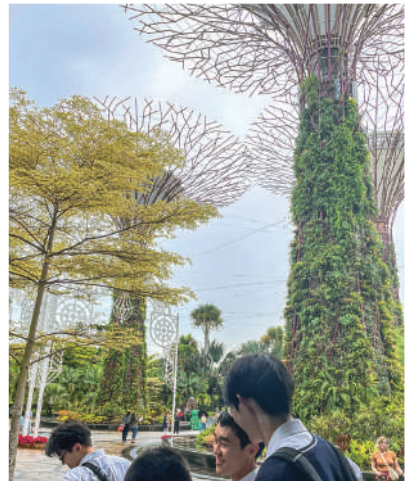
美ら海水族館

修学旅行
in シンガポール
R5.12

中高一貫コース、特別選抜コースは初の海外研修旅行となる、シンガポールに行ってきました。国際感覚を磨く、貴重な経験となりました。



マリーナ・ベイ・サンズの「光と水のショー：スペクトラ」



ガーデنز・バイ・ザ・ベイの「スーパーツリー」



シンガポール国立大学

ひめまつ
目次
第七十八号

表紙……栗原 侑良
校歌
題字……石川 木魚
生活目標

グラフ
「学園の四季」

論説

生成AIと教育 …………… 校長 須賀 英之 …… 1

特集

● 須賀 淳 学園長先生を偲んで …………… 4

須賀学園の軌跡

● 高校第二学年 シンガポール修学旅行を実施 …………… 10

第一班（普通科 中高一貫・特別選抜コース）

トピックス …………… 12

新校舎竣工・難関大学合格！・一日体験学習・オーストラリア語学研修・データサイエンス講座・

とちぎアントレプレナー コンテスト・生活教養科「宇都宮市青少年賞表彰 優秀賞（団体）」受賞・

アジア高校生架け橋プロジェクトによるフランスからの留学生

沖縄探求学習

沖縄の文化とアメリカの文化の融合

沖縄科学技術大学院大学について

沖縄の海の現状

沖縄の飲食店ではどのようなBGMが流れているのか？

二年 六組 小島 郁輝

二年 七組 君島 匠

二年 九組 大出 珠瑠

二年二十四組 鈴木 美蓮

声

世界の平和に向けて自分ができること

世界平和のために

世界の平和のためにできること

世界平和に繋ぐ心

世界を一つに

国際交流の推進

平和にむけて忘れてはいけないこと

一年 十三組 斎藤 晏那

一年 十八組 木田 橋堯

二年 五組 川上 汐結

二年二十三組 大柿 湖子

三年 五組 首藤 美裕

三年 九組 吉澤 唯花

令和五年度 校内読書感想文コンクール入賞者

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

【第三学年の部】校長賞

第一位 太宰 治著「女生徒」を読んで

【第二学年の部】校長賞

第一位 スペンサー・ジョンソン著「チーズはどこへ消えた？」を読んで

【第一学年の部】校長賞

第一位 大鶴 和江著「自分を縛る禁止令を解く方法」を読んで

三年 一組 三ツ井 桜和

二年 三組 田崎 耕作

一年 一組 藤田 結名

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

旧・一年	三組	矢島	大和
旧・一年	十四組	野中	千寿
旧・一年	二十組	齋藤	天音
旧・二年	一組	西村	希美
旧・二年	四組	小倉	唯
旧・二年	六組	山本	凜太郎

旅行記 一日旅行

しおりより濃い一日	一年	一組	岡本	一城
学と楽々絆深まる一日旅行	一年	四組	田村	心
思い出の一ページ	一年	十八組	木田橋	堇
深まる友情と新たな発見！	一年	二十二組	岡田	茉海
我々は音楽科	一年	二十四組	高田	璃音
幻想的な巨大地下神殿	二年	一組	麦倉	惟月
未来へ繋がった一日	二年	五組	川上	汐結
温故知新	二年	七組	福田	温大
過去と未来	二年	十組	熊倉	莉理子
将来と思い出	二年	十八組	古内	結衣
未来への選択が広がり、友情が深まった一日旅行	二年	十四組	下之段	隼人
未来につながる絆の旅	二年	二十組	谷中	伊吹

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

部活動 活動報告

茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・吹奏楽・硬式野球・卓球・水泳・
男女ソフトテニス・バドミントン・柔道・スポーツチャンバラ・チアダンス・百人一首・プレゼンディベート・
パティシエ・イラストアート・体操・空手・eスポーツ・ハンドボール・男女サッカー・剣道・硬式テニス・
合唱・男女バレーボール・男女バスケットボール・軽音楽・陸上競技・駅伝・インターアクトクラブ・新体操・
日本音楽・応援団・そば打ち・YouTube・メタバース

附属中コーナー

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集 コンクール入賞作品・
校内読書感想文コンクール入賞作品・夏休み自由作文コンクール入賞作品・
一年間の反省と進級にあたっての抱負・写真で見る中学校生活・部活動紹介・立志式記念講演

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学コーナー

宇都宮共和大学／シテイライフ学部 子ども生活学部

イベント・トピックス・卒業生メッセージ・就学支援・スカラシップ

宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科・食物栄養学科

教育実習生、母校の教壇に

.....

国 語／日本女子大学
体 育／日本体育大学
音 楽／国立音楽大学
地歴公民／三重大学

野村 彩乃
西崎 海翔
岡本 鈴香
福井 妃那子

令和五年度 生徒会報告

.....

主な大学合格者数一覧（平成二十四年三月～令和五年三月）

.....

主な就職内定状況（令和五年度）

.....

編集後記

編集委員長・鈴木 柚葉

.....

校史と校章

.....

論説

生成AIと教育



GPT-4の出現

この一年間のICT技術で特筆すべきは、生成AIの進歩に他なりません。二〇二三年三月に、OpenAI社からChatGPTの新しい学習モデルであるGPT-4が公表されたことを契機に、一気にその活用が広がりました。AIが生成した文章は、間違いが多く不完全なものでしたが、日進月歩の技術革新の中で、ようやく日常的に誰もが使えるAIとして急速に普及しています。

校長 須賀英之

インターネットの検索エンジンとは異なり、ChatGPTはその回答に対して追加で質問を続けることにより、自分自身の理解や考えを深めることができます。また、自動的に文章が作成され大まかな下書きができるので、一から文章を作成する手間が省けます。さらに、Excelの関数など、プログラミング言語に詳しくなくても高い精度でソースコードを作成することができます。

ChatGPTに関する生徒の考察

本校では、まずは使ってみようということで夏休みの読書感想文をChatGPTに作らせ、それに対する自分自身の考察を書いていたきました。本誌二十三ページの田崎耕作さんの「『チーズはどこへ消えた?』を読んで」によれば、ChatGPTは、「要約や著者の考え、自分に対する教訓など

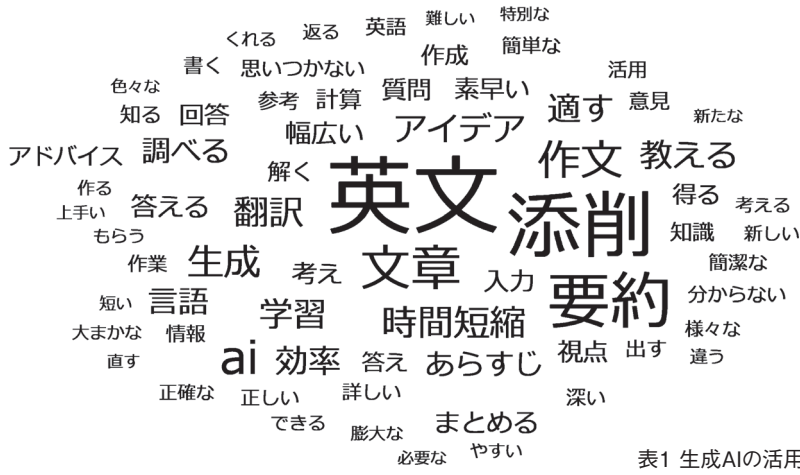


表1 生成AIの活用方法

を、一瞬で要領よくまとめることができ。しかし、自ら深く考えたプロセスや強い意思が感じられない。また、質問（指示文）のプロンプト（書き方）にも工夫があることが分かった」とのことでした。

そこで冬休みの宿題として、学習において「生成AIを活用するメリット、活用方法」（表1）を挙げてもらい、また同様に、学習ツールとして活用する場合の「校内のルール（ガイドライン）」（表2・3）をどうしたらよいか考え、その結果を生徒会ICT委員会に分析していただきました。

その結果は、「要約、添削、英文翻訳」などに有用な一

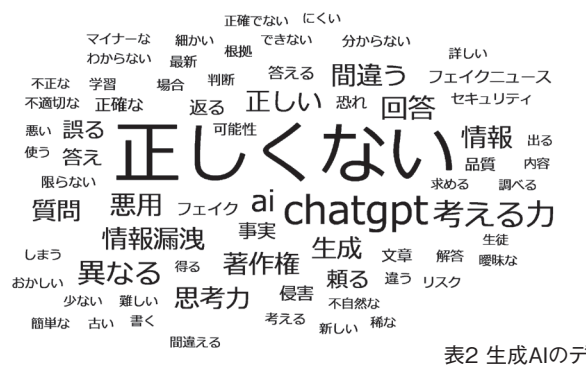


表2 生成AIのデメリット

方、「回答が必ずしも正しくない」「情報漏洩やフェイクニュースなどが懸念される」とのことで、手放しの利用には留意すべきとのことでした。

生徒の皆さんが、どう生成AIを活用したら良いかを考える有意義な機会となったよううれしく思いました。

なお、文部科学省では、二〇二三年七月に「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」（左記QRコード）を発表しています。



表3 生成AIの不適切な使用



仕組みの理解から有益な活用に

ChatGPTはすでに、様々なアプリケーションと連携（ウェブAPI）しており、スマホで知らないうちに生成AIを使っていることもあります。また、Google社のBardやMicrosoft社のCopilotなど、新たな生成AIサービスも普及してきています。

私は、まずは生成AIの仕組みを理解して、使いながら有益な活用方法とリスクを考えていくことが大切だと、思っています。

ChatGPTは「Chat Generative Pre-trained Transformer」、つまり「事前学習をする生成的な変換機」の略語です。世界中のウェブから対象となる大量の文章を集めて、その中から様々な学習モデルを作ります。例えば、ある単語に続く「の」や「は」の確率を調べ、また、そのあとに続く単語の確率も計算します。その繰り返しで膨大な学習モデルを作っていきます。ですから、意味を理解して、それが正しいかどうかは判断していません。もちろん人間的な感情や倫理観も持っていません。

その根幹技術である深層学習の詳細やどうして自然な文章になるのか、対話の仕組みなどは公表されていません。

皆さんもChatGPTの仕組みに関して、「アルゴリズム」「データセット」「評価モデル」「学習方法」「ファインチューニング」などのキーワードについてぜひ調べてみて、理解を深めてください。

教育への生成AIの活用

生成AIが今後どのように教育の現場で活用されていくのか。

技術進歩が速いため、容易に想像することは出来ません。AIによる画像生成技術も進化しており、授業の動画もいずれ登場することでしょう。

すでに文章の添削や英会話に活用している生徒も多くなっています。私は、近い将来、「個別最適学習」に正しく利用されることを大いに期待しています。同じ教科であっても、生徒には得意不得意な分野があります。授業中の質問やテストの結果をAIが判断して、個々に合った教材や課題について昼夜を問わず自動的に作ることが、早晚、実現することでしょう。

その中でも教員の役割は、きめ細かく生徒の気持ちに寄り添って、手本を示しつつ励まして、ともに成長していく。こうした生徒一人ひとりの持つて生まれた個性、能力、特質を最大限伸ばしていく「全人教育（人間形成の教育）」の基本は、不変です。

AIにとつて代わることのできない判断力と思考力を、生徒の皆さんには、学校の仲間と切磋琢磨して培ってもらいたい、そして、社会で愛される人間に育ってほしいと願っています。

●プロフィール

私立武蔵中学・高等学校卒、東京大学経済学部卒。日本興業銀行（現みずほ銀行）人事部副調査役、産業調査部主任部員、本店営業部副部長等を歴任し、二〇〇〇年に須賀学園に戻る。

現在、須賀学園理事長、宇都宮共和国・宇都宮短期大学学長を兼任。栃木県私立学校審議会会長、栃木県文化振興審議会会長、栃木県交響楽団会長、宇都宮まちづくり推進機構理事長、うつのみや産業振興協議会会長、栃木銀行社外監査役などの公職も務める。

須賀学園の軌跡



人間形成の教育に全生涯を捧げた
学園の創立者

須賀 栄子

一八七三（明治六）年、群馬県館林の藩士 須賀正直の六女として生まれる。生後一カ月で母を、また三歳で父も亡くしたため、明治天皇の皇女養育の女官を務めていた長姉寿賀が郷里に戻り、高度な教育と厳格な躰のもと幼少時代を送った。

寿賀の栃木県尋常中学校（現在の県立宇都宮高校）の赴任に伴い、宇都宮に移住。市内で唯一の東小学校に入学し初等科および中等科を首席で通し、それぞれ卒業式には答辞を読んだ。同年、県に1校だけ設置された尋常中学校の女子部に入学し、一八八八（明治二十一年）年に卒業。翌年、名門の東京神田の大成学園に入学し、英語・数学・物理ほか当時の最先端の教育を受けた。

修業後は姉の運営する「宇都宮裁縫専修所」に勤めた後、一九〇〇（明治三十三年）年に弱冠二十七歳で、本学園の礎となる県内初の私立女子の教育機関「共和裁縫教習所」を開設した。以来三十五年間教育に全精力を捧げ、一九三四（昭和九年）年に天皇単独拝謁日の直前に、脳溢血で急逝した。

「明るく豊かな国家社会の基礎は健全な家庭の建設にある。」という信念のもと、若い女性たちに世界平和に通じる真の使命を自覚させ、共和の精神で実践に徹する堅実で気品高い女子教育に力を尽くした。



共和裁縫女学校



戦災前の校舎前景（松が峰校地）



戦災から復興し学園を発展させた
二代目理事長・宇都宮短期大学創立者

須賀 友正

須賀学園が誕生した翌年の一九〇一（明治三十四）年に生まれる。生涯独身であった叔母・栄子の甥で養子となった。県立宇都宮中学校（現在の宇都宮高校）を首席で卒業後、蔵前高等工業学校（現在の東京工業大学）を一九二三（大正十二）年に卒業。当時、トップ商社であった高田商会に入社して、ドイツに赴任することが決まっていたが、関東大震災のため宇都宮に引き揚げ、県立宇都宮工業学校（現在の宇都宮工業高校）の教員となる。ピアノが得意であり、数学・物理を教える傍ら、式典での君が代演奏や宇工創立五周年記念に制定された校歌の作曲などにも活躍した。

栄子急逝後、三十三歳の若さで本校の校長に就任。和裁や礼法の教師であった妻・華子とともに教壇に立ち、学園を継承・発展させた。

一九四十六（昭和二十一年）年には、全国屈指の工業高校である県立足利工業学校校長（現在の足利工業高校）を兼任し、戦後の同校の再建の大任も果たした。また、栃木県公安委員長を六期に亘りつとめた。一九七一年（昭和四十六）年、勲三等瑞宝章を受章。一九八二（昭和五十七）年、逝去。

当時の生徒によれば、「古武士の面影の中にも、温かみをひめた友正校長先生」と記されている。



戦後復興した高校 睦町キャンパス



宇都宮短期大学開学 長坂キャンパス(1号館)



光り輝く全人教育を継承し、
高次連携を推進

三代目理事長 須賀 淳

宇短大創立五十周年(二〇一七年)記念誌 インタビューより抜粋

〈インタビューアー 宇都宮短期大学副学長 直井 文子〉

学園の中で生まれ育ち、東大卒業後は文部大臣秘書官などを務めて、一九六八年に須賀学園に戻られる。須賀 淳先生(三代目理事長・須賀学園学园长)に、須賀学園の温故知新をお伺いしました。

一九六四年、須賀友正校長先生が高校に音楽科を設置されました。
全国的にも先駆的な試みだったことでしょう。

全国でも約十校しかなかった高校の音楽科を、本校で初めて男女共学で発足させたことは、まさに画期的なことでした。当時、文部省では高校教育の多様化を推奨していて、初等中等教育局の初等教育課長の私は、父と音楽科設置を構想しました。友正校長は自らピアノを弾き作曲も得意で、音楽への憧れは人一倍でした。明治三十三年に栃木県内最初の私立の女子教育機関として創立された本校ですから、芸術の香り高い音楽科を加えることには、私も大賛成でした。

高校総体、国体、全関東という三大会制覇を達成したソフトボール部の快挙に次いで、一九六二年には発足四年目のオーケストラ部がNHK全国器楽コンクールで第二位を獲得したことも後ろ盾にありました。先生も生徒もよりレベルの高い演奏指導を求め、それに応えるべく第一線でご活躍の音楽実技の先生方を招聘し、音楽科が誕生した

のです。

それより先、長坂にグラウンド(現長坂キャンパス)を開設し、宇都宮短大の創設を準備されていた当時の様子は。

高校から四kmの丘陵地で、高い丘の緑の美しさや見晴らしの良さに魅かれて、将来、音楽や幼児教育を専門とする高等教育機関を設置しようと、十年ほど前から準備をしていました。グラウンドを開設した一九六五年、秋の大運動会を長坂キャンパスで開催したことを、今でも鮮明に覚えています。

高校には音楽科のレッスン室と練習室を備えた特別校舎(三号館)を新築し、短大創設についても物心ともに着々と準備を進め、審査が厳しい文部省の設置認可のために度々上京する父と、二人三脚で努力しました。長坂キャンパスには、当時と変わらない豊かな自然環境が維持され、現在「こどもの森」やキャンプ実習にも活用されていることは、とても嬉しいことです。

一九六七年の三月に高校音楽科の一期生卒業に合わせて、宇都宮短期大学音楽科が開学し、須賀友正先生が初代学長に就任されました。



宇都宮共和大学 那須キャンパス



昭和40年代の授業風景

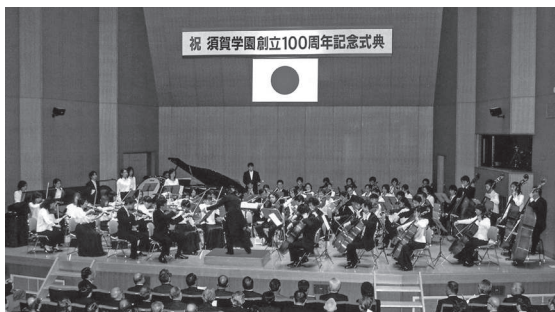
三年前に発足した高校音楽科は、各種コンクールや芸術祭で表彰された中学生に対する熱心な募集活動も功を奏して、優秀な生徒が集まりました。その実績から、高校卒業生を受け容れるための宇短大音楽科の創設に弾みがついたのです。

高校音楽科の卒業生は約半数が宇短大へ入進学し、半数は東京藝大はじめ有名音楽大学へ進みました。この比率は半世紀を経ても、変わっていません。現在は、宇短大から海外留学や東京の四年制難関音大への編入学者も増えています。高校・短大の音楽科卒業生が、全国はもとより世界へと演奏活動や教育活動の場を広げてきたことは感慨無量です。

友正校長は、「教科の学習はもとより、文化面、スポーツ面へと私の思いは連なっていく」と話し、「強く、美しく、朗らかに励もう」と学生生徒に目標を掲げていました。

淳先生が、副校長として一九六八年夏に文部省から学園に戻られ、九月には学校名を須賀高等学校から宇都宮短期大学附属高等学校に改称されました。

校名変更は、須賀学園に当時数少ない高等教育機関である短大を設置したことを世間に示すとともに、名実ともに新し



須賀学園創立100周年記念演奏会(2000年)



夏休み前の音楽科第4期生(1972年)

い時代のニーズを切り開く高等学校として脱皮を図ろうと考え、決断しました。学園にとって大きなエポックとなりました。文部省海外教育事情視察団の団長として欧米各国をめぐり、特に米国の高校において多様な教育が行なわれていることに注目した経験が大きかったと思います。

音楽科に次いで一九七〇年には、栃木県に先鞭を付けたいという思いで、高校に調理科を新設しました。厚生省へ五十人定員で申請し募集したところ、一五〇人に上る受験生があったことはうれしい悲鳴でした。

一九八五年に、長坂に須賀友正記念ホール(二号館)を増築。第二代学長の淳先生はアコデオ、電子オルガンやオーディオ機器を駆使して、音楽に親しまれておられます。音楽ホールの建設に関して、相当に研究されたことでしょう。

一九八二年に亡くなった宇短大創立者の須賀友正学長を顕彰して建てられたこのホールは、日本一のクラシック環境を目指して、NHKの技術研究所に音響設計を依頼しました。

国内外から訪れる有名演奏家がこの宇短大のホールを絶賛するたびに、NHK技術研究所に日参した労苦が報われる思いです。同じくNHK技術研究所に音響設計を依頼して、一九八八年には附属高校にも須賀栄子記念講堂を新築しました。世界の名器であるスタインウェイピアノとベーゼンドルファーピアノ、国産のヤマハとカワイのコンサート用フルコンをそれぞれのホールに備えました。各メーカーによる世界最高峰のピアノの音質の特徴が、私の耳にも良く分かりました。

同時期に栃木県交響楽団、その後に栃木県オペラ協会の会長にも就任されていますね。

学園は地域の音楽団体との関わりも深く、一九七〇年に発足した栃木県交響楽団の会長を初代会長の父から引き継ぎ、また一九九九年には県内の二つのオペラ団体を一体化した栃木県オペラ協会の設立にあたり、会長としてその発展に努めました。

学園創立一〇〇周年を迎えるにあたり、一九九九年に那須大学（現・宇都宮共和大学）を創設されました。その狙いは。

私は二十一世紀の激しい社会変化に対応できる、個性ある創造的・国際的な人材養成が必要と考えていました。折しも、那須が国会で首都機能移転のトップ候補地に決定され、これを受けて栃木県や那須塩原市等から学園に大学設置の要請があり、全国初の都市経済学部を有する那須大学を開学しました。

その後、国において首都機能移転が見送られたことから、学園では那須キャンパスは維持しつつも、二〇〇六年に大学本部を宇都宮市中心市街地（宇都宮シティキャンパス）に移転し、須賀学園創立時の校名を復活して宇都宮共和大学と改称しました。

この新しいシティライフ学部は、都市の生活・経済・まちづくりを学ぶ先駆的な学部として、評価を得ていることは嬉しいことです。

二〇〇一年に宇短大人間福祉学科が発足し、音楽と福祉を総合的に学べる短大に発展しました。

高齢社会が急速に進み、福祉の専門職を養成することが国家の政策となりました。附属高校生徒の福祉ボランティア活動を見て、この場にこそ「全人教育」を必要とすることを痛感し、人を知ること、重点を置き、人間福祉学科（社会福祉・介護福祉専攻）を設置しました。

短大に音楽と福祉が揃ったことで、「豊かな心」「豊かな暮らし」に向けた創立当時の構想が実を結びました。

二〇〇四年に英之先生が第三代学長に就任されました。幼児福祉専攻や音楽療法士専攻から宇都宮共和大学子ども生活学部まで、革新の年月でした。

長男の英之が学園に戻り、四年後に学長職をバトンタッチしました。英之は経済が専門ですが、学生時代から色々な楽器に親しみ、スポーツにも熱心でした。嫁も国立大学の教授で大学を身近に見ていたこともあり、スムーズにバトンタッチできました。

二〇〇三年に少子化に向けて宇短大人間福祉学科に幼児福祉専攻を、また二〇〇五年に福祉との融合を考え音楽科に音楽療法士専攻を設置しました。幼児福祉専攻は、音楽科の強力なバックアップもあり実績を伸ばして、二〇一一年に宇都宮共和大学子ども生活学部に発展しました。福祉や保育の現場で、卒業生がすでに中堅として活躍していることは心強いことです。

その後、宇短大音楽科には邦楽専攻を加え、二〇一八年には吹奏楽・アンサンブル専攻が新設されます。アンサンブルホールの新設やこどもの森の整備も進み、隣接地に須賀学園第四グラウンド（硬式野球場ほか）も完成しました。長坂キャ



現在の長坂キャンパス



宇都宮短期大学附属高等学校 新1号館

ンパスの展望をお聞かせください。

母の須賀華子が三味線や長唄などの邦楽をたしなみ、私は幼い頃からその音色を聴いて育ったので、邦楽専攻の設置は念願でした。一方、附属高校吹奏楽部は、毎年コンクールで好成绩をおさめていますので、吹奏楽指導者を育成する大きな期待を寄せています。

長坂キャンパスの開設以来半世紀を経て、私が文部省在職時からの構想であった人間社会にとつてかけがえのない「音楽」「福祉」「保育」にかかわる教育の道筋が揃いました。共通する教えは、学園創立者の須賀栄子先生が教育の根源に置いた一人ひとりの個性・能力・特性を最大限に伸ばす「全人教育（人間形成の教育）」に他なりません。

これからも伝統と先進を両輪に、教職員と学生がお互いに信頼し合い、あたたかな校風のもと優れた教育研究を進め、卒業生には輝かしい人生を送ってほしいと心から願っています。

【学校法人 須賀学園 沿革】

- 一九〇〇年（明治三十三年） 須賀栄子により須賀学園創立（宇都宮市西塙田町）
- 一九一〇年（明治四十三年） 宇都宮市松が峰二丁目（現 須賀学園研修所）に移転
- 一九三四年（昭和 九年） 創立者須賀栄子校長逝去 須賀友正校長に就任
- 一九四五年（昭和 二十年） 宇都宮大空襲により全校舎焼失
- 一九四六年（昭和二十一年） 宇都宮市睦町一丁目（元 陸軍野砲兵連隊 現睦町キャンパス）に移転
- 一九四八年（昭和二十三年） 学制改革により宇都宮須賀高等学校となる
- 一九六四年（昭和三十九年） 高等学校に音楽科設置
- 一九六五年（昭和 四十年） 宇都宮市下荒針町にグラウンド（現長坂キャンパス）を開設
- 一九六七年（昭和四十二年） 宇都宮短期大学音楽科設置（長坂キャンパス）
- 須賀友正 宇都宮短期大学学長に就任
- 一九六八年（昭和四十三年） 高等学校は宇都宮短期大学附属高等学校と校名変更
- 一九八二年（昭和五十七年） 須賀友正理事長・学長逝去 須賀淳理事長・学長に就任
- 一九八三年（昭和五十八年） 宇都宮短期大学附属中学校設置（中高一貫教育）
- 一九九九年（平成 十一年） 那須大学（現 宇都宮共和国）都市経済学部設置（那須キャンパス）
- 須賀淳 那須大学学長に就任
- 二〇〇〇年（平成 十二年） 須賀学園創立一〇〇周年記念式典を挙行
- 二〇〇一年（平成 十三年） 宇都宮短期大学に人間福祉学科設置
- 二〇〇三年（平成 十五年） 須賀英之 那須大学長（現 宇都宮共和国）に就任
- 二〇〇四年（平成 十六年） 須賀英之 宇都宮短期大学長に就任
- 須賀学園教育会館を開設
- 二〇〇六年（平成 十八年） 那須大学は宇都宮共和国シティライフ学部と名称変更
- 宇都宮共和国に宇都宮シティキャンパスを開設
- 二〇一一年（平成二十三年） 宇都宮共和国に子ども生活学部設置（長坂キャンパス）
- 二〇一七年（平成二十九年） 宇都宮短期大学創立五十周年記念式典を挙行
- 二〇一九年（平成三十二年） 宇都宮短期大学に食物栄養学科設置
- 二〇二三年（令和 五年） 高等学校に新1号館を開設

高校第2学年シンガポール修学旅行を実施

～第1班(普通科 中高一貫・特別選抜コース)～
2023年12月1日(金)～5日(火)

2023年12月1日(金)から5日(火)まで、高校第2学年の中高一貫、特別選抜コース生徒は、3泊5日のシンガポール修学旅行に行ってきました。

現地のシンガポール国立大学の大学生と一緒に市内を散策したり、栃木をPRするプレゼンテーションを行ったり、マリーナバレーやマーライオン公園、セントーサ島などシンガポールの各所を巡りました。

修学旅行で多民族国家の経済大国シンガポールを訪れたことは、生徒にとってかけがえのない経験になったようです。



ラッフルズ御
上陸地点

常識を疑え

普通科中高一貫コース 2年1組 新井 心優

国外へ行く。これは常識の外側へ行くことであり、知見を広げるよい機会だ。しかし、自分には分不相応だと感じる人も多いただろう。私もその一人だった。この状況で修学旅行という安心できる環境、シンガポールという治安の良い国で初めての経験ができたことは有難いことだった。特に私は怪我で松葉杖をついていたもので大変気を使っていた。外国に行くことで発生する変化として分かりやすいものは通貨や言語、気候の違いだろうか。実際私もこれらの差ばかり考えており、到着時にも実感した。しかし、思いのほか歴史の差異を覚えることも多かった。シンガポールでは英領であったことや、日帝領であったことが挙げられるだろう。

このようなことは一例にすぎないが、シンガポールで安全に過ごしたことは、他国に興味を持つ第一歩になったことは間違いない。枠から外れ、常識を見つめなおすことが重要だ。

詳しくは本校ホームページ・スクールライフ グローバル教育「シンガポール海外研修旅行」を御覧ください。

<https://www.utanf-jh.ed.jp/schoollife/pdf/singapore.pdf>



栃木をPRするプレゼンテーション

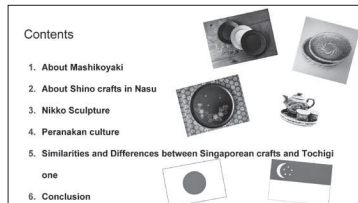
研究学習の一環として実施してきたシンガポールの研究を踏まえ、栃木の魅力を経済、歴史・伝統、社会・文化、産業等のテーマに分かれ、現地在住の方たち（みずほ銀行、竹中工務店、シンガポール経営大学）をお呼びし、英語でプレゼンテーションを行いました。



The culture of Tochigi

traditional handicrafts Class 1 Group B

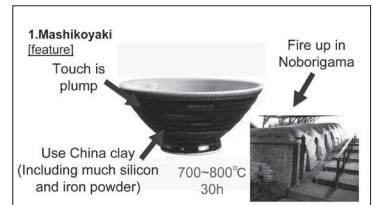
1



Contents

1. About Mashikoyaki
2. About Shino crafts in Nasu
3. Nikko Sculpture
4. Peranakan culture
5. Similarities and Differences between Singaporean crafts and Tochigi one
6. Conclusion

2



1. Mashikoyaki [feature]

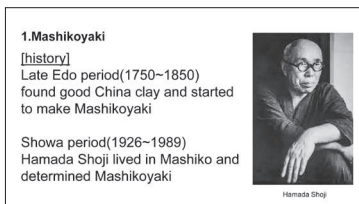
Touch is plump

Fire up in Noborigama

Use China clay (including much silicon and iron powder)

700~800°C
30h

3



1. Mashikoyaki

[history]

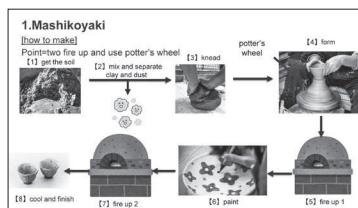
Late Edo period(1750~1850)
found good China clay and started to make Mashikoyaki

Showa period(1926~1989)
Hamada Shoji lived in Mashiko and determined Mashikoyaki



Hamada Shoji

4



1. Mashikoyaki

[how to make]

Point=two fire up and use potter's wheel

[1] on the soil

[2] mix and separate clay and ash

[3] knead

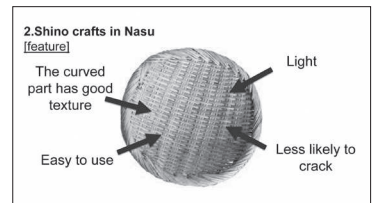
[4] form

[5] cool and finish

[6] fire up 1

[7] fire up 2

5



2. Shino crafts in Nasu [feature]

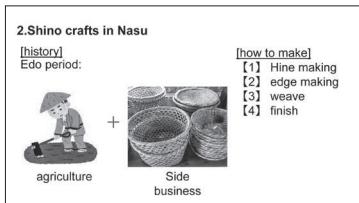
The curved part has good texture

Light

Easy to use

Less likely to crack

6



2. Shino crafts in Nasu

[history]

Edo period:

[1] Hine making

[2] edge making

[3] weave

[4] finish

[how to make]

[1] Hine making

[2] edge making

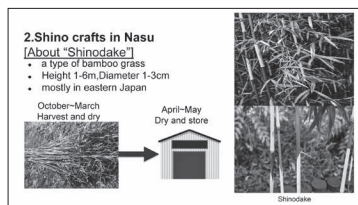
[3] weave

[4] finish

agriculture

Side business

7



2. Shino crafts in Nasu

[About 'Shinodake']

- a type of bamboo grass
- Height 1-6m, Diameter 1-3cm
- mostly in eastern Japan

October~March

Harvest and dry

April~May

Dry and store

Shinodake

8



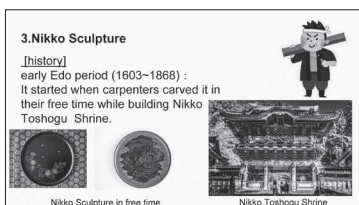
3. Nikko Sculpture [feature]

Design is plants and animals

Hikkaki carving

Lacquer coating called Nikko Tsuishu

9



3. Nikko Sculpture

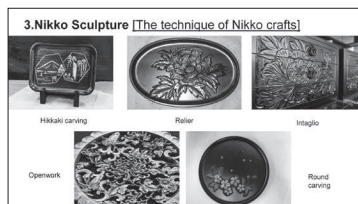
[history]

early Edo period (1603~1868) :
It started when carpenters carved it in their free time while building Nikko Toshogu Shrine.

Nikko Sculpture in free time

Nikko Toshogu Shrine

10



3. Nikko Sculpture [The technique of Nikko crafts]

Hikkaki carving

Relief

Intaglio

Openwork

Round carving

11



4. Traditional Singaporean Crafts =Peranakan culture

Singapore has a shorter history than Japan.
BUT
It has a Peranakan culture.



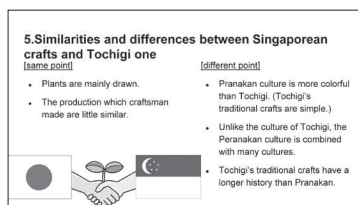
12



4. Traditional Singaporean Crafts =Peranakan culture

Peranakan= a native-born child(Malaysian)
bright color and beautiful pictures

13



5. Similarities and differences between Singaporean crafts and Tochigi one

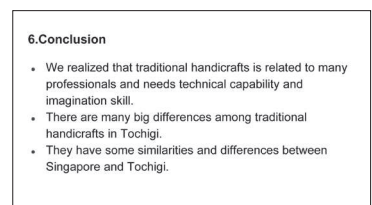
[same point]

- Plants are mainly drawn.
- The production which craftsman made are little similar.

[different point]

- Peranakan culture is more colorful than Tochigi. (Tochigi's traditional crafts are simple.)
- Unlike the culture of Tochigi, the Peranakan culture is combined with many cultures.
- Tochigi's traditional crafts have a longer history than Peranakan.

14



6. Conclusion

- We realized that traditional handicrafts is related to many professionals and needs technical capability and imagination skill.
- There are many big differences among traditional handicrafts in Tochigi.
- They have some similarities and differences between Singapore and Tochigi.

15

トピックス

新校舎竣工

安心安全で快適な学び舎として、新校舎が十二月に竣工しました。



最新鋭のICT環境やSDGsへの取り組みを実践した、七階建ての校舎です。更に充実した高校生活を送りましょう。

難関大学合格！

昨年度も多くの先輩方が難関大学に合格しました。先輩たちは高い志の下、常に自己の現状を分析し、学習・生活の両面において試

行錯誤を重ねながら、自分に最適な受験環境を作っていたとのこと。
卒業生の力強い歩みを励みに、現役高校生諸君も頑張りましょう！（一三九ページ）に主な大学合格者一覧を掲載しています。

一日体験学習



七月二十九日（土）～三十一日（月）の三日間行われた一日体験学習には、六五〇〇名を超える参加がありました。記念講堂大ホールにおいて、「それぞれの高校の特色や進学実績をよく見比べたうえで、夢と希望が実現できる高校を、皆

さん自身で選択してください。」と須賀英之校長先生からごあいさつがあり、各科・コースや部活動の紹介では、生徒たちの生き生きとした姿に、中学生と保護者は釘付けになりながら聴講していました。また、各科の体験学習では、自分の受講したい学科で、特色を



生かしたメニューを体験し、進路を考えるきっかけとなりました。



オーストラリア語学研修



新型コロナウイルスの影響で見合わせていた語学研修を三年ぶりに実施しました。オーストラリアのクイーンズランド州ゴールドコーストに赴く語学研修・ホームステイです。

州立ランコーン高校に迎えていただき、英会

話の授業やバディ生徒との学校生活など、様々なプログラムを通して国際交流を深めました。ホストファミリーとの交流の中でも、異文化理解力を含むグローバルマインドを学ぶなど、有意義な時間を過ごすことができました。

データサイエンス講座



普通科と情報商業科の一年生を対象に「データサイエンス講座」を実施しました。外部講師をお迎えして、文理融合型の新しい学問として注目されているデータサイエンスについてのお話を拝聴しました。

データサイエンスは膨大なデータを収集・分析し、新しい価値を創造する研究であり、情報処理能力や統計知識・人工知能を用いて集積したデータを解析し、さまざまな業界で導入されています。

生徒からは「これからの時代に必要な知識だとわかりました」「データサイエンスという職業に興味を持ちました」といった感想がありました。

とちぎアントレプレナー・コンテスト



県内在学や本県出身の高校生、大学生らが起業アイデアを提案する「第十一回とちぎアントレプレナー・コンテスト」において、優秀賞に普通科二年の鷲足祐香さんの「株式会社PONT」が選ばれました。

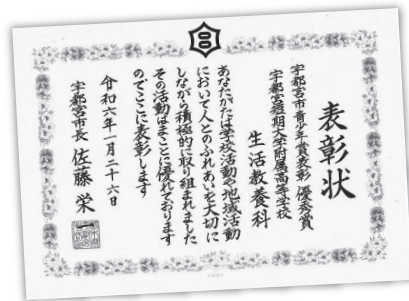
NTは、ベンチャー企業と研究者をつなぐ場を提供するサービスを行います。研究者は自分の研究内容を市場に結び付けることができ、企業は商品等の開発で利益を得るという仕組みです。鷲足さん自身、宇都宮大学と連携して水処理の研究を行っていた経験からの発想とのことでした。

また、普通科二年の高根沢勇人くんの「スベラール」が奨励賞を受賞しました。大学の実際の講義動画を現役高校生が視聴でき、教授とリモートで対談もできるサービスです。双方ともお互いの利益となるアイデアと工夫が評価されました。今後の活躍を期待しています。

生活教養科

「宇都宮市青少年賞表彰」

「優秀賞(団体)」受賞



生活教養科では、創立者 須賀栄子先生の命日(十月十四日)にちなんで、また、優しい心づかいの運動として、毎年、手作りの子ども用エプロンを宇都宮市役所(保育所や福祉施設)に寄贈しております。平成元年から実施しており、今年で三十五回目(総数四二三五枚)になります。その活動が認められ、宇都宮市より「宇都宮市青少年賞表彰 優秀賞(団体)」をいただきました。これをも励みにし、今後も活動を継続し、社会貢献できるよう尽力してまいります。



My Trip to Japan

Emma Nairi MOSSOYAN

Hello, my name is Emma, and I'm originally from France. I spent four months in Japan with the AFS organization. In this text, I'll first explain why Japan, then talk about my journey to get there, and finally, share my takeaways.

To begin with, I've been passionate about Japan since my early years, starting with the discovery of manga and anime. As a child, manga was a hobby and something precious to me, although I had no idea about its origin or anything about Japan. It was as I grew older that I discovered anime and, consequently, its origin: Japan.

Once I knew this, I became extremely interested in this country, very different from mine. I was particularly captivated by the Japanese way of life, traditions, and history. At the age of 14, I was determined to go there with my mother for two weeks when I turned 16, and at 15, I started taking Japanese lessons.

Now, let me share my journey. Taking Japanese lessons, I already knew some basics of the language. I was contacted by my teacher, who explained that an association had an available spot for studying in Japan. I quickly applied, seeing this opportunity as the fulfillment of my dream, but on a much grander scale, as I would have the chance to immerse myself in authentic Japanese daily life and embrace its culture.

It has now been two months since I've been staying in Utsunomiya, and I see the days advancing rapidly.

Reflecting on my experience today, I can say that it has greatly enriched me. I've learned to embrace Japanese culture and lifestyle, which is vastly different from my own. Through this opportunity, I have also met people from around the world, becoming close to them despite cultural and language differences. The students in Utsunomiya warmly welcomed me and showed interest in my country.

In a short period, I formed friendships with my classmates. The teachers, too, were kind enough to explain everything despite my comprehension difficulties, and they introduced me to wonderful aspects of Japan.

This experience has changed my life, profoundly enriching it and revealing the infinite richness of world cultures, the openness of people, and the joy of life. Opening up to the world is one of life's greatest and wisest experiences, and I am incredibly grateful to Japan for allowing me to experience it. I hope to return as soon as possible!

11月末から、フランスの高校2年生のエマさんが本校に来ています。日本のマンガやアニメ文化に興味を持ったことがきっかけで来日を決心したようです。異文化を通して互いに知見を広げてもらいたいです。





◆ ◆ 校史と校章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立123周年の記念日を迎えました。今後、ますます本学園の教育実践が充実し、その取組が広く内外に示されることを願っています。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園学園長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、平成27年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、第3体育館と硬式野球場、さらに、平成31年4月には宇都宮短期大学に食物栄養学科が新設されました。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育(人間形成の教育)」の精神が、120年かわらずに脈々と生きついでています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせさせて図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。



『歡 喜』

2年5組 柏木 祐舞